



冬の子ども折り紙教室 (12月10日)

主な内容

- 賀茂次郎義綱公九百年祭に寄せて… 26
- 2005加茂市のできごと…………… 89
- 若宮住宅地分譲中…………… 101
- 税に関する作文・標語…………… 12
- 市史編さん委員紹介①…………… 14
- やさしい医学「糖尿病って、どんな病気?」 15
- 加茂の風土記「二宮金次郎立像」…… 16

かものじろうよしつな

賀茂次郎義綱公九百年祭に寄せて

加茂市長 小池清彦

かものじろうみなもとのよしつな

賀茂次郎源義綱公は、加茂の歴史にとって最も重

要な人物であり、日本歴史上の英雄であります。

みなもとのよりよし

前九年の役で名高い源頼義の長男が八幡太郎義家

はちまんたろうよしえ

(石清水八幡宮で元服)であり、次男が賀茂次郎義綱

(京都の賀茂神社で元服)で、三男が新羅三郎義光

しんらみょうじん

(新羅明神で元服)であります。

八幡太郎義家は、抜群の武将として、また新羅三郎

しやう

義光は笙(楽器の名)の名人で後三年の役の時に兄の

義家を助けに行った武将として、また、甲斐武田家の

祖として、共に日本歴史上に名高い人ではありますが、

なぜか、次男の賀茂次郎義綱公の名前はあまり知られ

ておりません。



小貫の御廟に安置されている
賀茂次郎義綱公の木像

しかしながら、義綱公は、御存命の時は、兄の義家にも劣らず名高い人であったのであります。

地方で反乱等が起こりますと、度々朝廷から義綱公に追討の命令が下り、義綱公が任務を果たして京都に凱旋がいせんされるときは、その軍列がきわめて見事で、京都の人達は、みな通りへ出て、その軍列を見たとのこと
であります。

義綱公は、兄の義家公と並ぶ武家の二大棟梁であつ

たのであります。もつとも、この御兄弟は、共に勢いが強く、相当張り合っておられたようではありますが。

父の頼義公に従って前九年の役で陸奥むつで安部貞任あべのさだとうと戦い、陸奥守むつのかみ、伊勢守いせのかみ、甲斐守かいのかみ、美濃守等みののかみを歴任しませんでした。

それほど、当時活躍し、偉大な武将であった義綱公なのですが、ある時、子供の義明が朝廷に嫌疑をかけられて戦い、戦死したその巻き添えを喰って、佐渡へ流されてしまったのであります。

ところがその頃、加茂の付近で黒鳥兵衛くろとりひょうえという人物が現れたわけであります。この黒鳥兵衛くろとりひょうえという人物は、平将門の越後版のような人であったようでして、朝廷には従いませんが、民衆には相当人気もあつたようであります。しかし、困る民も出てくるわけで、これを放置することができず、義綱公が佐渡からこちらへおいでになって、黒鳥兵衛を平定されたわけであります。そして、その後、加茂の地で亡くなられたといわれて

おります。

義綱公のお墓は、小貫こつなぎの山の中腹やわたと八幡やわたの西光寺さいこうじにあり、義綱公を祭る御廟ごびょうは、小貫こつなぎにあります。

義綱公の黒鳥兵衛平定のことにつきましては、その当時に書かれた記録はなくなっておりますが、「言い伝え」や「伝説」は、はっきり残っているわけでありませう。また、後世に書かれたものであっても、しっかりとした記録があり、お墓もあり、御廟もあり、その家臣の子孫の方々の家も加茂市の中にたくさんあります。そして、小貫には、義綱公の家臣の子孫の方々と、後日小貫に移り住んだ方々の子孫の方々が一丸となって、今日まで義綱公の祭りを絶やさずに来られたわけであ



山の中腹にある石垣に囲まれた義綱公の墓所

ります。

「言い伝え」や「伝説」は、そう簡単に発生して長い年月伝えられるようなものではありません。「言い伝え」や「伝説」には、史実が多いのです。

私が宮司を務める長瀬神社八幡宮の旧社殿の棟札には、「長治二年 八幡宮奉勸請 かんじょうたてまつる 美濃守 みののかみ 建替 たてかえ」と

あります。長治二年とは一一〇五年であり、美濃守とは義綱公のことです。即ち、八幡宮の御分霊を合祀し、義綱公が社殿を建て替えられたということでもあります。

また、私が子供の頃までは、義綱公が五月五日頃に亡くなられたということ、加茂では端午の節句はせず、代わりに男子の節句は六月十五日に行い、鯉幟 こいのぼり もこの頃に立てたものでございました。事実でない、単なる伝説なら、いつまでも、こんなことまでしないはずであります。

私は、義綱公が黒鳥兵衛を平定され、加茂の地で亡

くなられたことは、確固たる史実であると思っております。

義綱公の晩年は、はっきり判らないというのが、歴史学者の定説となっております。そうなりますと、ますます義綱公の黒鳥兵衛の平定と加茂での御逝去が現実味を増してまいります。

さて、前述のように小貫の方々は今日まで御先祖の主君である義綱公の御廟を守り、お墓を守って祭りを絶やさずにこられました。前回の八百五十年祭に引き続き、去る十月九日、賀茂次郎義綱公九百年祭を盛大に挙行されました。

まことに光栄なことに、義綱公の御廟（地元の方々には、「義綱様」と呼んでおります。）の御祭りは、私の家が行うことになっておりまして、私と祭員の方々三人とで執り行わせていただきました。

実行委員長の番場庄栄さんをはじめ、小貫の方々が総出で準備され、大幟旗 おおのぼりばた もお立てになり、みんなで祭

典に列席されました。

来賓として、関龍雄市議会議長、中滝孝明社会教育課長（やむを得ないことで欠席された吉田助役さんの代理）、歴史家の古川信三先生と関正平先生が出席され、さらに、義綱公の御子孫であられる春田妙子様御一家三人も静岡市からおいでになり、出席されました。春田様は、「先祖である義綱公のお墓が佐渡にも見当たらず困っていたところ、こんな立派なお墓が加茂にあって、しかも皆様が今日までお祭りを続けてくださって、本当にありがたい。」と言っておられました。



御廟の入口に立てられた
大幟旗(おおのぼりばた)

御廟での祭典のあと、近くの山の中腹のすばらしい眺望の場所にある義綱公の立派なお墓の前で墓前祭を行いました。お墓のすぐ後ろには、千年は経ったであろうと思われる杉の大木が亭亭とそびえ、名将のお墓にふさわしい威容と気品を感じました。

その後、御廟のところで太々神楽だいたいかぐらを行いました。

「義綱公は、ゆかりの人達の子孫によって、没後九百年経った今も、お祭りをしてもらっておられ、すばらしいことだ。」と私は思いました。また、「おそらく兄の義家公のお祭りを今でもしているところはないのではないか。」とも思いました。もともと弟の義光公は、甲斐武田家の先祖ですから、お祭りは行われているかと思えます。

私は、歴史的に見れば、加茂といったら、何といつても義綱公だと思っております。兄の義家公と並ぶ日本歴史上の抜群の名将のゆかりの地に生を享けたことを限りなく誇りに思います。

また、名将の九百年祭のことについて、このような拙文を書かせていただいていることを心から光栄に思っております。

賀茂次郎源義綱公の名が日本歴史の上に燦然と輝き続けることを祈念してやみません。

最後に、このたびの賀茂次郎義綱公九百年祭を挙行された小貫の方々のお名前を次に掲げます。ご家族の方々も共に全力を尽くされたことは、申すまでもありません。

番場庄栄(実行委員長)、佐野春夫(実行副委員長)、
佐野佐一郎、佐野一昌(以上、顧問)、明田川太門、
泉田泉司、泉田文男、佐野雅好(以上、実行委員)、
泉田新作、泉田良策、大原柳三、佐野晴康、坪谷清、
坪谷廣人、坪谷弘幸、坪谷芳昭、原田敏裕、番場功、
番場伊之助、番場清、番場秀一、番場正一、番場庄作、
番場卓、番場晴輝、番場実、福原一芳



10月9日、御廟で賀茂次郎源義綱公九百年祭を挙行

市制施行50周年記念 加茂市史資料編1 古代・中世

小京都加茂市の
本格的な市史

加茂市史

資料編1

古代・中世

全九巻の第一弾

加茂市史

資料編1 古代・中世

好評発売中

A5判 345ページ 定価 2,500円

□刊行 新潟県加茂市□

2005 加茂市のできごと

今年のドキュメント

今年、大きな事件・事故が続き、また自然災害も世界各地で起こった一年でした。それでも、日本人宇宙飛行士による活躍、プロ野球・ロッテの三十一年ぶりの優勝、そして黒田慶樹さんと清子さんのご結婚などだれもが話題にするニュースもありました。ここで今年一年間の加茂のできごとをご覧ください。



若林舞衣子さん(ゴルフ)に

栄誉記念章贈呈

7月アメリカで行われた世界ジュニアゴルフ選手権大会女子15~17歳の部で個人・団体優勝しました。この功績に10月25日、加茂市栄誉記念章が贈られました。



新しい加茂市史を発売

平成11年から編さんを進めてきた新しい加茂市史の「資料編1古代・中世」が発売されました。これから、編さんが進み次第、資料編と通史編が刊行されていきます。



就学前乳幼児の医療費を無料に

12月1日から就学前までの乳幼児の医療費が入院完全無料・通院原則無料となりました。これは、新潟県内20市の中でトップの水準です。

平成17年 加茂市のできごと

- 1月13日・JR加茂駅で自動改札スタート
- 19日・宮大門交差点がスクランブル信号化
- 24日・臨時市議会
- 27日・中越大震災義援金を県知事へ
加茂病院産科即時再開の署名簿を県知事へ
- 28日・大島町椿まつりに親善訪問
- 29日・加茂市アマチュアボクシング協会設立記念スパーリング大会
- 3月8日・定例市議会(24日)
- 4月10日・加茂山一斉清掃
- 17日・第39回雪椿まつり大園遊会
- 25日・臨時市議会
小中学校スクールバス9台増で24台運行開始
- 5月28日・加茂美人の湯入館者50万人達成
- 3日・成人式で四百十六人が新成人に
在住外国人71人をゲストに国際交流の集い
- 24日・新しい加茂市史の初巻を発売
- 29日・日露ジョイント・パレエコンスアート開催
- 6月5日・加茂川一斉清掃
- 6日・中央コミュニティセンターが月曜日も開館始まる
- 7月20日・定例市議会(7月1日)
- 3日・農業委員選挙が欠員一人で無投票当選
- 11日・コムソモリスクス子供代表団来市(18日)
- 13日・中野涼司くんが世界ユース陸上(モロッコ)出場

2005 加茂市のできごと

日本のできごと世界のできごと

- 2月16日・京都議定書発効
- 3月25日・愛知万博「愛・地球博」開催
- 4月1日・ペイオフ解禁
 - 20日・福岡西方沖地震で震度5強
 - 25日・JR福知山線で列車事故
- 5月6日・プロ野球セ・パ交流戦開始
- 6月29日・アスベスト健康被害問題発表
- 7月7日・イギリスで同時多発テロ発生
- 8月16日・宮城県南部地震で震度6弱
 - 17日・サッカーW杯日本出場決定
- 8月～9月・アメリカで超大型ハリケーン連続発生
- 9月11日・衆議院議員総選挙
- 10月1日・国勢調査
 - 26日・プロ野球・ロッテ31年ぶり日本一
- 11月15日・黒田慶樹さん・清子さんご結婚
 - 20日・朝青龍史上初の大相撲7連覇
 - 21日・高層建築物で耐震強度偽装問題発覚
 - 23日・サッカー・アルビレックス新潟J1残留確定
 - 30日・ダイエー新潟万代店閉店



第39回雪椿まつり

今年のミス雪椿には、堀江早香さん、内田遊子さん、酒井絵梨子さんが選ばれ、加茂市のPRに活躍しています。

第20回越後加茂川夏祭り

二尺玉十発打ち上げで夏の夜空を飾りました。二十回を記念して五枚組みの絵はがきが十一月に発売されました。

体操トレーニングセンター

ジュニア選手育成の中心となりつつある加茂市。九月から最新の設備を備えたセンターの建設が始まりました。

- 12月6日・定例市議会(～21日)
- 24日・臨時市議会
- 15日・商工会議所が墨彩画絵はがきを発売
- 13日・若宮中学校創立50周年記念式典健康ウォーク
- 11日・旧まるよし五番町店にスーパー入居内定
- 11月6日・第2回加茂菊花展(～27日)
- 29日・第38回市展(～11月3日)
- 28日・臨時市議会
- 25日・若林舞衣子さんへ加茂市栄誉記念章贈呈
- 24日・臨時市議会
- 11日・衆議院議員総選挙で菊田真紀子元市議が再選
- 10月21日・定例市議会(～10月4日)
- 2日・加茂ライオンズクラブ40周年記念式典
- 8日・体操トレーニングセンター建設工事開始
- 9月11日・衆議院議員総選挙で菊田真紀子元市議が再選
- 3日・新潟経営大学で実践経営学会全国大会開催
- 8月22日・臨時市議会
- 2日・温水プールで入場者30万人達成
- 14日・第20回越後加茂川夏祭り
- 15日・若林舞衣子さんが世界ジュニアゴルフ選手権大会(アメリカ)で女子個人・団体優勝
- 14日・体操トレーニングセンター建設で公募型指名競争入札告示

市中 若宮住宅地 分譲中

北越の小京都 加茂の奥庭！

緑豊かで便利で閑静な高級住宅地！

下水道完備

若宮中学校へ徒歩4分

近くの県道天神林上条線(若宮町～長福寺間)は、
11メートル幅(片側歩道)に拡幅工事を実施中

若宮公園まで徒歩4分

加茂南小学校まで徒歩15分・スクールバスあり

商店街「ながいきストリート」まで徒歩7～10分

加茂駅まで徒歩25分、バス便多し

幼・少年には良好な成長・教育の環境を！

青壮年には憩いと活力を！

老年には安らぎと幸せを！

大幅値下げ断行！

低利(年1.8%)の融資制度を創設！



若宮中学校からの眺望

若宮住宅地 分譲中

新価格で分譲

1坪当たり単価 95,898円～113,815円を
88,000円～93,000円に値下げしました

若宮住宅地 15区画を大幅に値下げして分譲いたします。

分譲区画

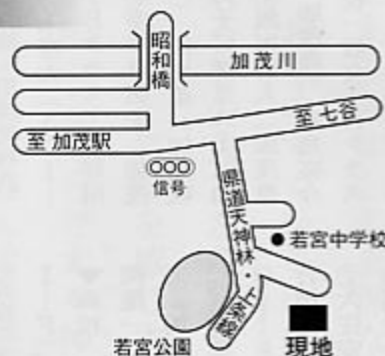


- ・所在地 加茂市若宮町2丁目地内
- ・用途 都市計画区域内用途地域無指定
(建ぺい率70%、容積率200%)
- ・施設 ガス・水道・下水道完備、舗装道路

分譲価格

番号	面積		単価(円)		価格(円)
	m ²	坪	m ² 当たり	坪当たり	
4	337.04	101.95			8,972,004
19	290.70	87.94	26,620	88,000	7,738,434
20	294.64	89.13			7,843,316
2	333.10	100.76			9,169,243
3	330.12	99.86			9,087,213
7	357.74	108.22			9,847,508
11	351.09	106.20	27,527	91,000	9,664,454
15	284.78	86.15			7,839,139
16	284.56	86.08			7,833,083
17	285.41	86.34			7,856,481
1	369.86	111.88			10,404,901
5	380.70	115.16			10,709,852
9	337.21	102.01	28,132	93,000	9,486,391
10	353.53	106.94			9,945,505
14	287.74	87.04			8,094,701

周辺マップ



加茂市保有宅地取得資金融資制度のご案内

- 融資条件 ①融資限度額 600万円 ②融資利率 年1.8%
 ③融資期間 10年以内(据置3カ月以内を含む) ④返済方法 毎月返済
 ⑤資金の用途 加茂市が保有する宅地の取得資金

お問い合わせ・申し込みは **加茂市建設課用地係** ☎52-0080 内線219

税金で災害復興お手伝い

税に関する作文・標語を表彰

「税」の仕組みと役割について知識と関心を高めてもらおうと、作文と標語を募集しました。作文には二百六十四点、標語には五百十三点の応募があり、この中から次の各賞が決まりました。

■作文

【新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞】

「税金を支える私達の暮らし」

高山美紅（若宮中三）

【三条税務署長賞】

「税金の姿」 今井佑佳（須田中三）

「私たちと税のこれから」

本間国仁（加茂暁星高二）

【三南地区納税貯蓄組合連合会長賞】

「私たちの将来」 峯島由貴子（加茂中三）

「税金と社会問題」 長谷川円香（葵中三）

「当たり前」は税のおかげ」 外山結依（七谷中二）

【加茂市租税教育推進協議会長賞】

長谷川エミ（加茂中三）、五十嵐創（葵中三）、田浦あさ子（七谷中一）、上野康之（若宮中三）、小林重里沙（須田中二）、日下部昌美（加茂暁星高二）

■標語

【関東信越国税局長賞・優秀賞】

「税金で災害復興お手伝い」

鎌田康寛（葵中二）

【関東信越国税局長賞・佳作】

「明るい未来わたしも参加消費税」

浦井美希（若宮中二）

【三条税務署長賞】

「税金はみんなが生きる道標へ」 本間未愛（加茂中三）

「税金を納める父母ありがとう」 椎谷彩加（若宮中一）

「税金を納めるため」 古川拓也（七谷中三）

「税金を納めて築こう素敵な未来」 横山麻美（須田中三）

【加茂市租税教育推進協議会長賞】

高野真穂（加茂中三）、片岡里紗（葵中一）、田村彩（葵中二）、桑原麻美（葵中三）、中村瞳（七谷中三）、坂井真理（若宮中一）、近藤梓沙（若宮中二）、石井貴弥（若宮中三）、矢部翼（須田中二）、渡辺春香（須田中二）、山下翼（須田中三）

■学校表彰

【全国納税貯蓄組合連合会長感謝状】

須田中学校

【租税教育推進校表彰】

七谷中学校

総体結果



バドミントン

期日 十一月二十日

会場 勤労者体育センター

【シングルス】

▼少年男子①森田新一郎（石川小）②小柳裕司（加茂小）③北澤佑佑（石川小）

▼少年女子①茂野天音（加茂南小）②小林柚里加（加茂小）③田下仁香子（同）、柳生田成美（同）

▼中学女子①鈴木絵理加（葵中）▼高校一般男子Aクラス①坂上勝志（勤少）②谷口和弘（同）▼高校一般女子Aクラス①村越由紀子（AOI-F）②松永保恵（同）

▼高校一般男子Bクラス①佐藤幸宏（AOI-F）②渡辺八越（加茂農林高）③酒井勇也（同）、青木俊大（AOI-F）

▼高校一般女子Bクラス①長谷川葵（加茂暁星高）②南雲麻実子（加茂高）③丸山美紀（同）、伊丹萌（加茂暁星高）

▼高校一般男子Cクラス①河内準（AOI-F）②飯塚貴大（加茂農林高）③笠原大志（加茂高）、霜鳥亮介（加茂農林高）

▼高校一般女子Cクラス①近藤京子（AOI-F）②星野千香子（あひる）③田辺友香（加茂高）、岩佐美好（AOI-F）

▼壮年男子①柳生田亘（勤少）②阿部光雄（青海）

【ダブルス】

▼少年男子①森田新一郎・北澤佑佑

▼小学生女子①小林柚里加・田下仁香子②茂野天音・柳生田成美③佐藤京香・高取桃花（下条小）、知野香奈子・阿部望美（加茂小）

▼高校一般男子Aクラス①坂上勝志・谷口和弘②小林秀樹・中村勝也（勤少）③下村英輝・矢部哲成（同）

▼高校一般女子Aクラス①松永保恵・村越由紀子②坪谷千恵子・荒牧紀世美（勤少）

▼高校一般男子Bクラス①草野悠・古田弘司（青海）②中島昭・岩瀬和弘（勤少）③清水一宏・古川真澄（AOI-F）、小柳伸介・柳生田亘（勤少）

▼高校一般女子Bクラス①番場由美子・星野千香子（あひる）②柳生田由紀子・関川淳子（青海）③佐々木智子・近藤京子（AOI-F）、古山一美・坪谷礼子（青海）

▼高校一般男子Cクラス①下村達郎・関龍一（加茂高）②佐藤竜馬・茂岡敏夫（加茂暁星高）③小林誠・増田翔平（加茂高）、織田直紀・河内みち子（AOI-F）

▼高校一般女子Cクラス①竹田重紗子・坪谷真裕子（加茂農林高）②久住安矢・中村ちひろ（同）③南雲麻実子・金子亜美（加茂高）、吉田奈津美・大関芳枝（加茂農林高）

生田亘（勤少）②阿部光雄（青海）

【ダブルス】

▼少年男子①森田新一郎・北澤佑佑

▼小学生女子①小林柚里加・田下仁香子②茂野天音・柳生田成美③佐藤京香・高取桃花（下条小）、知野香奈子・阿部望美（加茂小）

▼高校一般男子Aクラス①坂上勝志・谷口和弘②小林秀樹・中村勝也（勤少）③下村英輝・矢部哲成（同）

▼高校一般女子Aクラス①松永保恵・村越由紀子②坪谷千恵子・荒牧紀世美（勤少）

▼高校一般男子Bクラス①草野悠・古田弘司（青海）②中島昭・岩瀬和弘（勤少）③清水一宏・古川真澄（AOI-F）、小柳伸介・柳生田亘（勤少）

▼高校一般女子Bクラス①番場由美子・星野千香子（あひる）②柳生田由紀子・関川淳子（青海）③佐々木智子・近藤京子（AOI-F）、古山一美・坪谷礼子（青海）

▼高校一般男子Cクラス①下村達郎・関龍一（加茂高）②佐藤竜馬・茂岡敏夫（加茂暁星高）③小林誠・増田翔平（加茂高）、織田直紀・河内みち子（AOI-F）

17年度上半期の財政状況

平成十七年度上半期（四月～九月）の財政状況です。

市の収入と支出を表をご覧ください。
 平成十七年度当初予算額は、百二十八億七千万円ですが、その後、スクールバス運営費、加茂市保有宅地取得資金預託金、八月の豪雨災害による災害復旧費などの増額補正を行いました。
 その結果、九月末の予算額は、百三十億四千九百九十二万円となりました。

市税の収入状況

税目	調停済額	収入済額	収納率
市民税	9億3,323	4億7,714	51.1%
固定資産税	17億4,560	7億3,831	42.3%
軽自動車税	6,044	5,570	92.2%
市たばこ税	7,857	7,856	100.0%
特別土地保有税	59	0	0.0%
入湯税	332	332	100.0%
都市計画税	2億 52	8,440	42.1%
合計	30億2,227	14億3,743	47.6%

各特別会計の執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	26億7,171	9億7,741	12億5,072
老人保健	31億1,341	14億 164	14億8,081
宅地造成事業	3億6,866	1億 318	31
下水道事業	20億4,109	7億1,387	6億9,393
介護保険	18億3,760	8億2,514	7億7,715
在宅介護サービス事業	4億2,455	2億2,860	2億2,071
合計	104億5,702	42億4,984	44億2,363

一般会計予算総額 130億4,192万円

(9月末現在)

一般会計予算の状況

歳入	科目	予算額	収入済額	収入割合
	地方交付税	38億7,960	25億2,108	65.0%
諸収入	30億4,010	8,769	2.9%	
市税	27億3,790	14億3,743	52.5%	
市債	7億5,868	0	0.0%	
国庫支出金	5億5,708	1億9,646	35.3%	
県支出金	4億 323	1億2,684	31.5%	
繰入金	2億9,565	1,567	5.3%	
その他	13億6,968	9億 558	66.1%	
合計	130億4,192	52億9,075	40.6%	

歳出	科目	予算額	支出済額	支出割合
	民生費	29億4,192	13億5,572	46.1%
商工費	28億 6	13億7,566	49.1%	
公債費	16億1,655	7億5,390	46.6%	
土木費	15億5,532	7億5,325	48.4%	
教育費	11億8,743	5億 39	42.1%	
総務費	9億4,658	3億6,993	39.1%	
衛生費	7億9,682	3億7,602	47.2%	
その他	11億9,724	4億5,271	37.8%	
合計	130億4,192	59億3,758	45.5%	

(各表は、9月末現在・単位:万円)



加茂市史

編集委員を紹介①

新しい「加茂市史」が発売されています。現在、発売されているのは「資料編1・古代・中世」ですが、順次刊行されます。

ここで「加茂市史」の編集委員の皆さんを紹介していきます。

監修・近現代部会



溝口敏磨さん
部長
新潟大学人文学部
教授

委員の力を集結し、市民に喜ばれる市史を作りたい。

前回の市史に父が携わったのと同じ年代となり、想い一入です。

考古・古代・中世部会



金子達さん
部長
中世担当
元高等学校教員

謎に包まれた加茂の中世を、新しい知見を加え、明らかにしていきたい。

考古・古代・中世部会



桑原正史さん
担当
古代理論
立西川竹園高等
学校教諭

古代蒲原郡の郡衙は、加茂史域にあったのではないかと？ぜひ検証したい課題の一つです。

近世部会



佐藤賢次さん
部長
加茂晩星高等学校
教諭

近世の加茂地方を支配した領主と、そのもとで生きた人々の暮らしを明らかにしてみたい。

近世部会



関正平さん
副部長
加茂市文化財調査
審議会委員

江戸時代、支配の異なる町や村、そこに暮らした庶民の諸相をより多く明らかにしたい。

カメラ スケッチ



女子バスケ部監督の張玉琰さん



女子・男子のバスケ部の皆さん



全国3位のサッカー部の皆さん

新潟経営大学バスケットボール部・サッカー部(クラブチーム) 全国大会で活躍する新潟経営大学の運動部。バスケットボール部は北信越ブロックで女子が優勝、男子が準優勝とともに全国大会へ進みました。また、サッカーのクラブチーム全国大会では三位と好成績。訪れた監督・学生たちは「来年はもっと上にいきます」と話していました。



加茂田上安全安心まちづくり大会(十一月十九日・文化会館) 市内での防犯活動などの発表と、いろいろな防犯グッズが展示されました。ステージでは加茂警察署の皆さんによる「子ども110番の家」の利用方法・おとなの対応がコミカルに上演されました。

今、日本人の間で急増する糖尿病。患者数七百四十万人、その予備軍を加えると全国で千六百二十万人に上るといいます。この病気の怖いところは、自覚症状がほとんどなく、知らない間に進行してしまっているケースが多数あることです。

それでは、糖尿病はどのようにして起こってくるのでしょうか？糖尿病は、食べ過ぎ、肥満、運動不足、お酒の飲み過ぎ、ストレスなどからくる生活習慣病の一種であり、また、発病には遺伝的素因も深く関係しているため、ご両親やご兄弟などに糖尿病のいる方では特に注意が必要です。

次に実際の糖尿病のメカニズムを簡単に説明いたします。私たちは、食べ物を消化・吸収することで、生命を維持し活動するためのエネルギーを得ています。食べ物は、消化・吸収されブドウ糖とな

って肝臓へ送られます。そのうちの一部は、脳や筋肉で利用され、残りのブドウ糖は肝臓内にグリコーゲンとして蓄えられます（さらに余った分は脂肪になります）。この際、血液中のブドウ糖を細胞内へ取り込んでエネルギーとして利用するのを助ける働きをしているのが、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンです。このインスリンの作用不足が起こると、血液中のブドウ糖が細胞内に入ることができず、血糖値が高くなり、この状態が持続するのが糖尿病です。インスリンの作用不足には、膵臓のインスリンを作り出す能力が低下してしまうことと、インスリンに対する細胞の感受性が悪くなることの二つの原因があります。



糖尿病って どんな病気？

糖尿病による高血糖状態は、きちんとした医師の指導を受け、治療を守れば、確実によくなることができます。



しかし、インスリンの作用が不足している状態は、長年の生活習慣の結果として起きたものですから、多くの場合、なかなか元に戻すことはできません。つまり、治療によって一時的に血糖値が下がったとしても、治療を続け、生活習慣を正していなければ、血糖値はすぐまた高くなってしまいうということなのです。

そのため糖尿病は、一生油断は許されないという意味で、「治る」とか「治らない」といった表現をあまり用いずに、「しっかりと治療していれば、一生治ったと同じ状態を保つことができる病気」と表現することが多いようです。また、

糖尿病の症状も、前述したようにあまり当てにはなりません。糖尿病の症状は気づきにくく、多少血糖値が高いくらいでは全く症状のない人がほとんどです。

しかし、その程度の高血糖でも動脈硬化の進行による合併症（脳血管障害、虚血性心疾患、腎障害、網膜症など）は着実に発症・進行してきます。「症状がないから大丈夫」のではなく、症状があれば血糖値はかなり高くなっているということなのです。

高血糖がひどくなると、高血糖がひどくなると初めて、のどが渇く、お小水が多い、トイレが近くなる、体がかゆい、できものができやすい、物覚えが悪い、集中できない、眠い、お腹がすく、食べてもやせる、といった症状が現れてきます。さらに、血糖値がきわめて高い状態では、昏睡に陥ることがあります。このように、糖尿病とは、おつきあいをしているかなければならない病気であり、じつくりと腰を落ち着けて治療をしていかなければならない病気なのです。

（加茂市医師会）

尊徳翁 二宮金次郎立像

そんとくおう
柴刈り縄ない草鞋を作り
親の手助けを世話し
兄弟仲よく孝行つくす

手本は二宮金次郎

江戸時代末期の農村復興指導者
といわれる二宮金次郎翁、本名は
尊徳をたたえた唱歌である。

七谷小学校校庭の東側、やや小
高い所に校舎の方向を向いて二宮
金次郎立像が建てられている。本
を読みながら歩く背中に薪木を背
負う姿である。高さ約二メートルの台座
の中央には「報徳」と、近衛文磨
元総理大臣により揮毫され、台座
の裏面には「紀元二千六百年記
念・三条村栗山武三郎・石工高橋

市平」と建碑の由来が明記されて
いる。

台座の周辺には、花崗岩の玉垣
を巡らし、傍らに三本のヒマラヤ
スギが木陰をつくるなど、心のこ
もった造園が読み取れる。

須田小学校の校庭には、校舎を
背にして二宮金次郎像が建ってい
る。台座には「勤儉力行」と記さ
れ、黒松の下陰で勉学に励む姿で
ある。

かつて二宮金次郎像は、加茂の
全部の小学校に建っていたのであ
るが、加茂西小学校、加茂小学校、
加茂南小学校の三校の行方が判明
しない。

加茂の風土記



七谷小学校校庭に建っている二宮金次郎立像(右)と、昭和二十一年発行の一元札肖像(上)

二宮尊徳翁は、天明七年(一七八七)七月二十三日に現在の神奈川県小田原市栢山の農家に生まれ

た。生家は中農であったが、度重なる災害や十歳代で両親を失う不幸により極貧、一家離散の憂き目に遭いながらも、六尺豊かな健康に恵まれ、神・儒・仏の思想に則った報徳教を創め、勤労・分度・推譲などと、処世の要諦を判りやすく説くとともに、日光神領をはじめ六百五カ町村を復興し、天保年間に報徳社を創始し、自らも陰徳・積善・節約を励行している。

安政三年(一八五六)十月二十日病没、七十歳。法名は「誠明院功譽報徳中正居士」という。

あまり知られていないことながら、尊徳翁肖像は、昭和二十一年(一九四六)に日本銀行発行壹圓札に登場している。「江戸時代相模の農家出身で、幼名は金次郎。田畑の開墾や治水事業などで農村の生産性向上に尽力した」と説明されている。連合軍に治績を賞揚されるとは、尊徳翁は国際色豊かになっている。

現在「国際二宮尊徳思想学会」が活動しているという。

(古川信三)

おめでとう

文部科学大臣表彰(平成十七年度社会教育功労者表彰)

樋口良蔵さん(松坂町)

樋口さんは、平成四年から加茂市社会教育委員として社会教育活動の充実と向上に尽力されており、この功績により表彰されました。

新潟県知事表彰(卓越した技能者)

渡辺文彦さん(寿町)

渡辺さんは、建具に組み込まれる「組子」技術に卓越しており、木製建具製造工の部門で表彰されました。

人口のうごき

	12月1日現在
世帯	9,936 (+7)
人口	32,372 (-12)
男	15,666 (-14)
女	16,706 (+2)
()内は前月比	
(11月異動分)	
出生	12 (男3女9)
死亡	25 (男13女12)
転出	39
転入	40